

とよなか



まちづくり手帖

平成31年(2019年)

1月発行

第6号

まちのPR映画、製作の
きっかけとなったカフェ

一歩ずつの取組みが
つながるまち
(京都市伏見区・醍醐エリア)

INDEX

- それゆけ!まちづくり探検隊!!～京都市伏見区・醍醐エリア～ — 1・2P
- まちづくり協議会の取組み — 3P
(豊中駅前まちづくり推進協議会、おかまち・まちづくり協議会)
- まちづくり人リレー — 4P
- リレーエッセイ まなざし～まちづくりの現場から～ — 5P
- まちづくり掲示板 — 6P
- 第27回まちづくりセミナー — 7P
私たちはまちづくりをどう続けるか～道に迷わない達成度の確かめ方～

(回覧)



それゆけ!

まちづくり探検隊!!

このコーナーでは、マチカネくんが豊中市を飛び出してまちづくり活動をしているさまざまなまちを探検するよ!

さあ!! 今回もぼくと一緒に大冒険のはじまりワニー!

京都市伏見区・醍醐エリア

こんにちはワニー。今回探検するまちは…豊中から電車で約1時間30分。「京都市伏見区・醍醐エリア」に到着! 醍醐エリアは、京都市南東部・山科盆地の南側にあって、醍醐寺などの神社仏閣もある中、団地や戸建て住宅も建ち並ぶ閑静な住宅地になっているよ。まちを活性化するためのいろいろな活動があるんだって。どんなところかな〜♪

今回ボクと一緒にまちを探検してくれるのは…京都市まちづくりアドバイザーとして醍醐エリアに長年関わっておられる谷亮治さん。谷さんは大学在学中より住民参加のまちづくりの実践と研究に携わり、著書「モテるまちづくり」は自費出版ながら、注目を集める話題作になっているんだよ。それでは、谷さんよろしくお願ひします。

こんにちは。マチカネくん醍醐へようこそ。私は大学院在学中から、NPO法人の事務局として京都市の公共施設の委託運営の現場でまちづくりの実践経験を積んだ後、京都市まちづくりアドバイザーとして醍醐エリアを担当するようになって8年が経ちます。醍醐エリアは、古くから宇治や奈良につながる交通の要衝でした。戦後は住宅地として開発され、現在は新しい飲食店などのお店が建ち並ぶ閑静な住宅街です。アドバイザーとして8年間、地域の方といろいろと接する中で、それぞれの思いが繋がっているいろいろなまちづくり活動が生まれ、少しずつまちが変化しています。今回はそのあたりをご紹介しますね。

京都市まちづくりアドバイザー
谷 亮治さん

どんな楽しい
取り組みがあるの?

醍醐エリアには市民活動を応援する「醍醐いきいき市民活動センター」があり、地域の人のまちづくりへの思いを形にするべくさまざまなまちづくり活動を支援しています。まちづくりの人材を育成する「おとなだいご塾」や地域の新たな魅力を発掘する「だいがトレジャーハンター」など、活動の担い手も楽しみながら取り組みを行い、地域に多くのつながりやにぎわいが生まれました。

醍醐いきいき市民活動センターのみなさん



地域フィールドワークプロジェクト

地域の人材発掘、地域活動のネットワークをつくるため、地域のまちづくり活動を行っている人などを取材し、広報誌「だいがいきいきタイムズ」などで紹介しています。この取り組みから、新しいまちづくりプロジェクトが生まれるなど地域間のつながりを作っています。



おとなだいご塾

地域でまちづくり活動に取り組む人材を育成するため、専門家などによる講座を開催。まちづくりを行いたい人同士のつながりができ、まちづくり活動の第一歩を踏み出すきっかけとなりました。



だいがトレジャーハンター

「醍醐のええところをもっともっと知ろう」をモットーに、地域の歴史・人・店・建物など埋もれていたお宝を発掘するべくまち歩きを実施し、マップを作成。現在は高齢者の健康づくりを促すまち歩きイベントとして継続しています。

サンドイッチ
美味しかったワニー♪



カフェ&ショップ「ふらっと」

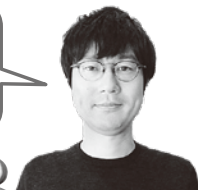
障害者の就労支援に取り組む京都市だいが学園が運営。地域住民と直接接する機会をもつことでやりがいを感じてほしいと考え、学園隣にカフェ&ショップ「ふらっと」を開所しました。醍醐いきいき市民活動センターと共催で、毎月1回、ドーナツを食べながら、歌って交流する場「だいが de ドーナツカフェ」事業もっています。

だいが生き活プロジェクト

生活に密着した安心・安全を考えたマップを作成。作成にあたっては、地域のみなさんでタウンウォッチングを行い、災害時の集合場所やAEDの位置など、緊急時にも役立つ内容としてまとめました。



そんな醍醐エリアで、今、楽しい取り組みをされている市民グループがあります。「伏見情報局」というのですが、“特色あるまちにしたい”“楽しいまちにしたい”という思いを持った仲間が集まり、まちの魅力を広くアピールするための短編映画をこの夏製作しました。今回は、「伏見情報局」のメンバーの谷口さんをご紹介しますね。



谷口さん、こんにちはワニー!! 楽しそうなグループだね。まず、映画製作のきっかけや楽しく活動している秘訣を教えてくださいワニー♪



伏見情報局メンバー
谷口 英明さん

こんにちは、マチカネくん。この映画は、いろいろな人の思いやつながりがあって作られた映画なんです。醍醐のまちは歴史やストーリーがあり、一部有名なスポットがあるものの、近郊のまちに観光に来る人が通り過ぎてしまうというイメージがありました。そんな中、まちのカフェでの地域フィールドワークプロジェクトを通じて知り合ったメンバーとの雑談から、「まちを盛り上げよう、面白いことをしよう、それなら映画をつくってPRしよう」という話になりました。やりたいことをしようというモットーで活動を進め、まちづくりアドバイザーの谷さんにも相談しながら、映画の原案を地域で募集し19作の公募作品の中からストーリーを決定しました。

撮影時の様子



見た人が前向きになる映画だったワニー。



そうなんだ。この映画にはどんな思いが込められているの? アピールポイントなど教えてください。

約15分の短編映画ですが、脚本はとにかく前向きで明るいものになるよう心がけ、まちで協力してもらえるお店やスポットがたくさん出演できるようにしました。また出演者も実名で登場し、より身近に感じてもらえるものになっています。撮影はとにかく楽しいものになりました。この映画をきっかけに、醍醐のまちでは面白いことをしていると多くの人に興味を持ってもらえると思うんです。

最後に! 映画をつくったことで、まちにどんな効果があったワニー? 今後の目標を教えてください!

多くの人に、一歩を踏み出すと何かができるというワクワク感を持ってもらえたのではないかと思います。上映会はまちの各所で行っており、この映画をきっかけに地域の人がつながっていくのが嬉しいです。また、子どもたちにも自分の住むまちに興味を持ってほしいという思いから、小中学生に向けての上映会を行っていきたく考えています。自分たちも楽しみながら活動を続けていけたらいいなと思います。



オーナーの
広田さん



ありがとうございました!
映画の撮影スポット、ボクも探検したよ。

映画製作のきっかけにもなったまちのカフェ。



映画撮影ではこの階段を3往復したんだとか。



撮影はまちの10か所で行ったそう。

いろいろなお話を聞いたけど、谷さんがこの醍醐エリアのまちづくりアドバイザーをする中で、心がけていること何?

まず、地域のみなさんには「やりたいことをやりましょう」といつも言っています。まちづくりはボランティア活動が多いので、義務感や押しつけからではなく、自分がまず楽しめることが大切だと思っています。楽しみながら一歩ずつ活動を続けていけば、結果として地域のつながりが生み出されたり、まちのPRにつながったりと目標に近づくと思います。地域のみなさんが楽しみながら! をモットーに今後も活動を続けていきたいと思っています。

最後に! 今後醍醐エリアはどんなまちになってほしいですか。

地域のみなさんが楽しみながら踏み出した小さな第一歩からさまざまなアクションが生まれ、地域のみなさんがより住みやすいまちになってほしいですね。また、地域外の人たちには醍醐のまちが楽しいまちだというのが伝わり、多くの人が注目するまちになってほしいと思います。

谷さん、ありがとうございました。一歩ずつの地道な取り組みが大切なんだね。アドバイザーという言葉があまり好きではないという谷さん。地域のみなさんととても仲が良く、みなさんのまちづくり活動の道しるべになっているように感じたワニー。

ここで紹介したのは、ほんの一部! まちづくりを続けていくためにどのように取り組むべきか…谷さんが講師のまちづくりセミナー(P7参照)でもっと詳しいお話が聞けるよ。みなさんぜひ参加してね!!



豊中駅前まちづくり推進協議会



阪急豊中駅の北東側を活動エリアとする豊中駅前まちづくり推進協議会では、10月15日(月)と10月17日(水)に通勤や学校の登校時間帯である朝8時からスクランブル交差点にて、自転車の押し歩き啓発活動を行いました。

大池小学校のPTAさん、豊中高校と梅花高校の先生、豊中警察署と豊中市役所の職員も一緒に、「横断歩道に歩行者がいるときは、自転車を押して渡ってください。」と呼びかけ、乗車したまま横断しようとしている自転車に声掛けを行いました。また、11月21日(水)と11月28日(水)に学校の下校時間帯である夕方4時から銀座商店街と一番街商店街でも行いました。商店街のお店の方、梅花高校の生徒さんも加わり、「歩道は自転車を押して歩いてください。走行するときは、車道の左側を走行してください。」と呼びかけ、歩道を走行している自転車に声掛けを行いました。28日の天気はあいにくの雨でしたが、自分たちの通学路である銀座商店街で梅花高校の生徒さんが一生懸命に声掛けをしていました。

協議会では、「安全にゆっくり楽しく歩き回れるまち」にするため、自転車の安全走行の啓発活動などさまざまなまちづくり活動を行っています。豊中駅前の安全で快適な歩行者空間の確保にご協力をお願いします。



スクランブル交差点での啓発活動



商店街での啓発活動

おかまち・まちづくり協議会

阪急岡町駅の北東側を活動エリアとするおかまち・まちづくり協議会では、例年、秋ごろに「おかまち・まちの文化祭」と銘打ち、さまざまなイベントを開催しています。昨年は11月に、フォークのコンサートなどの音楽イベント、昔の岡町・桜塚地域の風景や各種行事などのレトロな写真を紹介する写真展、絵本作家のきどまやさんによる絵本の原画展や能勢街道のイメージイラストを描く漫画家の木戸りんごさんによる岡町周辺のイラストの原画展などといった催しを岡町・桜塚商店街やその近隣にて開催しました。

これらのイベントには、毎回来られる常連の方から、たまたま商店街を通りかかった際に立ち寄られた方など、さまざまな方が来場されていました。

おかまち・まちづくり協議会では、このような文化イベント以外にも、空き店舗対策や商店街における自転車の押し歩き活動を推進するなど、商店街の活性化や歩きやすい通りづくりに取り組むことで、地域のまちづくりに貢献する活動を継続して行っています。



能勢街道のイメージイラスト



絵本原画展の様子

まちづくり人リレー



このコーナーは、自身の暮らすまちをより良くしたいと奮闘されている豊中のまちづくり人を紹介する連載です。



小林 俊子さん

(豊中駅前まちづくり推進協議会 環境部会メンバー)

小林さんは、豊中駅前まちづくり推進協議会の環境部会のメンバーとして、環境美化活動を通してまちの活性化に寄与されています。



銀行前花壇の花植え活動の様子

Q 環境部会を立ち上げられたきっかけや思いについて教えてください。

A 平成7年(1995年)に市が開催したごみ減量講座に参加し、そのときに容器包装類に使われているプラスチックごみを減らしたいと強く思い、何か活動しようと試みたことがきっかけでした。当時はまだプラスチックごみを減らすことにあまり共感を得られず、生ごみの減量に切り替えて、生ごみからの堆肥づくりをすることにしました。その当時、市が設置したプランターが銀座商店街に6か所ほどあったので、協議会に環境部会を立ち上げ、生ごみ堆肥を使ってそこに花を植える活動をするようになりました。その後、銀座商店街のプランターは3か所に減りましたが、次の活動の場所として駅前の金融機関などと繰り返し交渉した結果、きれいな花壇がたくさんできました。

Q 苦労された点やその課題に対してどのように対応されたのかについて教えてください。

A 中心となっているメンバーの高齢化で、1人また1人と活動メンバーが減っていく中で、担い手が本当に少なくなっている状況です。ハンギングバスケットづくりや花植え活動に参加を呼びかけて仲間を増やそうとしていますが、なかなか増えていかないので、さらなる工夫が必要だと思っています。

Q 今後の活動やこれからの思いについて教えてください。

A 昨年の秋に国道176号沿いの近畿大阪銀行横にフラワースポットが誕生しました。市に場所とプランターや花の苗などを提供いただき、金融機関、協議会や環境部会みんなの共同作業で完成させました。以前から、その通りを「けやき通り」と呼んでいるのですが、その入口に新たに「エントランスガーデン」ができあがりました。今後の目標は、協議会全体として、そこから通り全体を花で飾り、フラワーロードとして広げていく「花咲くけやき通り」づくりを進めていきたいと思っています。

Q まちづくり活動に興味を持たれている読者に向けてアドバイスをお願いします。

A まちの清掃だけでは人はなかなか集まってくれず、人が集まってくれる楽しいことや面白そうなことを考えないといけません。花の美しさの力は大きく、世話をすればするほど見返りがあり、無条件で誰にでも受け入れてもらえます。最後に、自分たちの活動に対しての一言ですが、花壇に花を植え、みなさんの足元を彩ることで地域を少しずつでも華やかにしていけると思い活動しています。みなさん、豊中駅前と一緒に花のお世話をしてみませんか。

まなざし

～まちづくりの現場から～

このコーナーでは、日々まちを見つめ、地域のみなさんと一緒に奮闘しているまちづくりアドバイザーに、現場での出来事や思いをエッセイにつづっていただきます。



はね たくや
羽田 拓也

株式会社地域計画建築研究所

まちなかの再生やにぎわいづくりに向けた計画策定から公共空間活用の社会実験、まちなかバルなどのにぎわいイベントなどの活動づくりや事業推進の支援のほか、地域活動や住民主体のまちづくり活動支援、中山間地の集落づくりなど、地域の住民・事業者・行政と一緒に地域の暮らしづくり・まちづくりに取り組んでいる。

「このまちなかに行ってみよう」という思いを持って、増やしていくためにまちの豊かな暮らしづくりに向けて、地域の方々と一緒にまちのにぎわいづくりや上質な空間づくりに取り組むことが多いですが、冒頭のような声をお聞きする時が、やっていてよかったと実感する瞬間です。

豊かな暮らしを形づくるものとして、単に建築物や広場といったいわゆる「ハード」だけでなく、まちの人々の思いや元気、おもてなしなどの「ソフト」の要素も重要です。単にイベントを実施するだけでなく、まちなかのお店やまちの人々が、訪れる人などと関わりをもちながら、日常のなかで特別感のある非日常空間をつくること、また、その非日常化を継続し、



非日常空間があることをまちの日常にすることで、ちょっとしたスペシヤルな体験ができることが豊かな暮らしのワンシーンだと思っています。

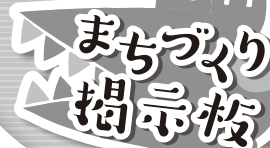
そういったスペシヤルな体験は、まちを訪れる人や暮らす人々へのまちの愛着につながっていきます。そのために、まずは、自分のまちが大好きな方々がまちで活躍できることが大切です。そして、訪れて魅力的だと感じるまちとは、まちで活動される方々が「こういうまちで、商売したい、暮らしたい」という思いを共有し、小さなことでも一歩踏み出して、チャレンジされている方が多いまちです。

まちの人々が魅力づくりに取り組む様子を通じて、まちに愛着をもつ人が溢れ、まちのあちこちを楽しむ。ひいては、その人たちの様子がまちの風景として日常になり、それらがまた新たなまちの豊かさや魅力になるというようなまちの良い流れができる取組みや活動に、地域のみなさんと一緒にチャレンジしていけたらと思っています。

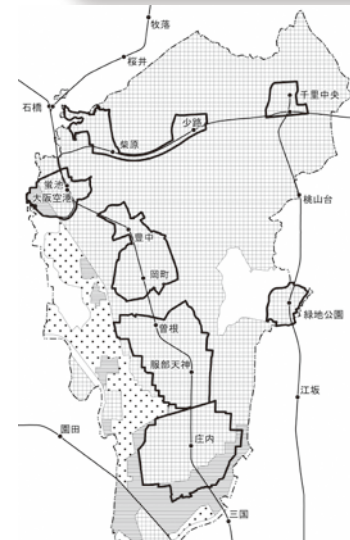
まちの魅力をつくり、暮らしを豊かにする

羽田 拓也

『豊中市立地適正化計画』を策定しました！



将来的に見込まれる人口減少や高齢化の進行に対応するため、居住並びに生活を支える施設の誘導を図る方針や区域などを示し、本市の特性を活かした土地利用誘導と駅周辺拠点の魅力向上を進め、若者や子育て世代、高齢者などの多世代の方々には選ばれる都市づくりをめざす『豊中市立地適正化計画』を策定しました。



《届出制度について》

立地適正化計画に示す各誘導区域外において、一定規模の住宅や計画で指定された誘導施設に係る開発及び建築等を行う場合は、事前に市長への届出が必要です。詳細は、市ホームページ、都市計画課窓口でご確認ください。

- 凡例
- 都市機能誘導区域
 - 一般型居住誘導区域
 - 住工共生型居住誘導区域
 - 産業誘導区域
- ※居住誘導区域及び都市機能誘導区域は、「土砂災害特別警戒区域」、「土砂災害警戒区域」、「生産緑地地区」、「特別緑地保全地区」、「保安林」を除きます。

※『豊中市立地適正化計画』は、ホームページで、ご覧いただけます。

お問合せ 都市計画課都市計画係
TEL: 06-6858-2090



新千里西町3丁目地区で地区計画の決定を行いました



平成30年(2018年)4月に「新千里西町3丁目自治会」から、「地区計画等の決定等の申出書」が提出されました。それを受け、豊中市では、これまで培ってきた良好な住環境を将来にわたって守っていくため、平成30年(2018年)8月に「新千里西町3丁目地区地区計画」の決定を行いました。

豊中市では、地区におけるまちづくりルールの作成に向けた活動を支援しています。

・地区計画等のルールづくりに興味を持たれましたら…
都市計画課地区まちづくり係(TEL06-6858-2650)までお気軽にご相談ください!

“地図情報とよなか”に「都市景観」の情報が追加されました



【パソコン版】



【スマートフォン版】

「とよなか百景」「豊中市都市デザイン賞」「豊中まちなみ市民賞」の景観スポットや「屋外造形物」の写真や説明などを見ることができます。

散策やまち歩きなどにもご活用ください!

地図情報とよなか 右記の二次元コードからもアクセスできます

お問合せ 都市計画課景観形成係
TEL: 06-6858-3143



私たちはまちづくりをどう続けるか ～道に迷わない達成度の確かめ方～

※P1、2に関連記事掲載

まちづくりって何から始めたらいいの？何を目標に進めればいいのか？今回のセミナーでは、あの『モテるまちづくり』の著者からまちづくりのはじめ方と続け方の秘訣をお話しいただき、まちづくりに関するもやもやを晴らすセミナーを開催します！！

開催日 平成31年(2019年)2月28日(木)

入場無料

時間 午後7時～9時(開場:午後6時45分)

手話通訳あり

場所 とよなか国際交流センター 会議室2ABC
※阪急豊中駅直結「エトレ豊中」6階

保育あり(有料,要事前申込み)

講師 京都市まちづくりアドバイザー たに りょうじ 谷 亮治さん

プロフィール

大阪府生まれ。博士(社会学)。大学講師。専門社会調査士。大学在学中より住民参加のまちづくりの実践と研究に携わり、2006年よりまちづくりNPO法人の事務局として京都市の公共施設の委託運営の現場で実務経験を積む。著書「モテるまちづくり」は、自費出版ながら、初版が1ヵ月で完売し、注目を集める話題作に！

講師からのメッセージ

住民参加のまちづくり活動というのは、どちらかというと、大抵漢方薬のようにじわじわ効いてくるものです。「すぐに目に見える効果が現れる！」ということはまれですよ。だからしばしばまちづくりでは、「頑張っているのに成果が見えないから不安！」となって、短期間でやめてしまう場合も少なくない。

逆に、長く続けている場合でも、「マンネリや飽きを感じてしまう！」とか、「いつまでやればいいのかわからなくて疲れる！」といったツライ症状が起こりがちです。

こういう症状の改善には、「自分達の活動がどこまで成果を出しているのか？」という達成度を確かめることが有効です。しかし、まちづくりの現場では、残念ながらその方法が十分知られていないことも多いようです。今回は、まちづくりをいきいきと長く続けていくために大切な、「まちづくりの達成度を確かめる方法」を一緒に学んでいきましょう！

主催・申込み・問合せ

豊中市役所 都市計画課 地区まちづくり係
TEL:06-6858-2197 FAX:06-6854-9534
メール:machi@city.toyonaka.osaka.jp



市ホームページ「まちづくり支援」→「まちづくり講座・セミナー」→「まちづくりセミナー」をクリック
<http://www.city.toyonaka.osaka.jp/machi/index.html>

座席数に限りがございますので、できる限り事前に電話・FAX・メールまたは市ホームページで、名前・電話番号・所属団体・保育の希望をご記入し、お申込みください。

◀ホームページはこちら